

策定の趣旨・位置付け

県政の基本指針である「新とちぎ未来創造プラン」に掲げるめざすとちぎの将来像の実現に向け、道路・交通分野の「施策の方向性」を定める分野別計画として策定

県政の基本指針「新とちぎ未来創造プラン」

めざすとちぎの将来像  
共に創る 人も地域も輝く “元気なとちぎ”

部門別計画「県土づくりプラン(2026~2030)」

分野別計画

道路・交通分野

『とちぎの道路・交通ビジョン3.0』

河川・砂防分野

まちづくり分野

期間

令和8(2026)年度を初年度として、概ね20~30年間の中長期的な視点で策定  
なお、社会経済情勢に大きな変化等が生じた場合など、必要に応じて計画の見直しを行う

国の計画との関係

国が策定した「関東ブロック新広域道路交通ビジョン」及び「関東ブロック新広域道路交通計画」と整合を図りながら策定

とちぎの道路・交通ビジョン3.0

調整

国(関東ブロック)

新広域道路交通ビジョン

新広域道路交通計画

時代の潮流

人口減少・少子高齢化の進行

輸送力の不足

気候変動

頻発・激甚化する自然災害

ライフスタイルの多様化

インバウンドの増加



道路・公共交通の課題

【凡例】▶ 現状を踏まえた課題 ▶ 時代の潮流等を踏まえた課題

道 路	
広域道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高い定時性と効率的な移動の確保</li> <li>▶ 高規格道路の空白域の解消、広域道路ネットワークの充実・強化</li> <li>▶ 広域道路の多重性・代替性の確保</li> </ul>
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 交通安全対策の推進、安全で安心して利用できる道路ネットワークの確保</li> </ul>
交通渋滞	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 幹線道路等における円滑な移動の確保</li> <li>▶ 観光地への快適な移動の確保</li> <li>▶ ハード・ソフトの両面での渋滞対策によるCO<sub>2</sub>の排出量削減</li> </ul>
社会インフラの老朽化	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 持続可能な道路管理の推進</li> </ul>
防災・減災、国土強靱化	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 強くしなやかな交通ネットワークの構築に向けた取組の着実な推進</li> <li>▶ 道路空間の防災・減災対策の推進</li> </ul>
公 共 交 通	
公共交通のサービス確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 交通ネットワークの確保、地域公共交通の利便性向上</li> <li>▶ 公共交通利用による周遊の促進を図るための取組</li> </ul>
公共交通の持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 運転者不足に対応した取組</li> <li>▶ 効率的で持続可能な公共交通サービスの維持・確保</li> </ul>



栃木県の強み

地理的優位性

観光資源

活力ある産業

交通ネットワークの充実



交通環境の変化

自動運転技術の進展

県央地域の東西基幹公共交通軸の強化

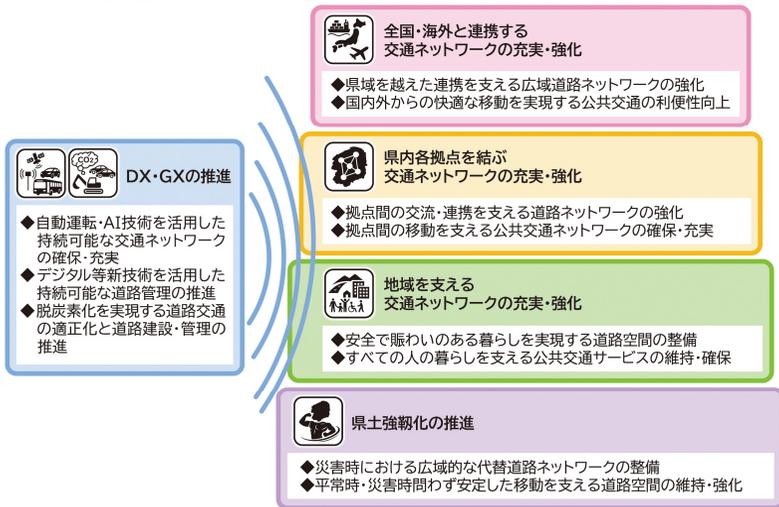
## 目指す将来像

目指す将来像を「誰もが、安全・安心・自由に移動し、交流・社会参加できる持続可能な社会」と掲げ、その実現に向け、大きく変化する時代の潮流や交通環境の変化を的確に捉え、本県の強みを最大限賢く生かしながら、移動の価値と質の向上を図り、「暮らし・地域」、「産業・観光」、「県土強靱化」を支える持続可能な交通ネットワークの構築を目指す



## 施策の方向性

目指す将来像を実現する持続可能な交通ネットワークの構築に向け、「全国・海外と連携する交通ネットワーク」、「県内各拠点を結ぶ交通ネットワーク」、「地域を支える交通ネットワーク」の充実・強化と、そのネットワークを支える「県土強靱化の推進」及びこれらすべてに関連する「DX・GXの推進」を着実に取り組む



## 施策の具体例

施策の方向性	施策の具体例
全国・海外と連携する交通ネットワークの充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高規格道路の整備</li> <li>○ 構想路線の実現</li> <li>○ スマートIC整備への支援</li> <li>○ 誰もが分かりやすい公共交通情報の提供</li> <li>○ シームレスな移動を支える交通環境整備</li> </ul>
県内各拠点を結ぶ交通ネットワークの充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拠点間を結ぶ幹線道路の整備</li> <li>○ 観光地へのアクセス道路の整備</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> <li>○ 新たなモビリティサービスの導入</li> <li>○ LRT整備事業、民間路線バス運行への支援</li> <li>○ 第三セクター鉄道の運行・施設整備への支援</li> </ul>
地域を支える交通ネットワークの充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路空間の再配分・バリアフリー化</li> <li>○ 鉄道交差点の立体化・拡幅</li> <li>○ 通学路の歩道整備</li> <li>○ 自転車通行空間の整備</li> <li>○ 共創による地域交通の担い手の確保・育成</li> <li>○ 公共交通のバリアフリー化の促進</li> <li>○ 市町と連携した生活交通の充実</li> </ul>
県土強靱化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高規格道路の整備(再掲)</li> <li>○ 構想路線の実現(再掲)</li> <li>○ 緊急輸送道路の整備・無電柱化</li> <li>○ 道路施設の長寿命化・耐震化</li> <li>○ 道路法面の防災対策</li> </ul>
DX・GXの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動運転の社会実装に向けた道路空間の多機能化</li> <li>○ 無人自動運転移動サービスの導入支援</li> <li>○ デジタル等新技術を活用した持続可能な道路管理</li> <li>○ 道路交通の適正化(渋滞対策)</li> <li>○ 脱炭素化を実現する道路建設・管理</li> </ul>